

# 大量焼却・CO<sub>2</sub>放出 200億円～300億？ 荒神山麓・軟弱地盤

新ごみ処理計画 根本見直し必至

## 廃プラ焼却から分別回収へ 環境省も方針転換

### 環境省も方針転換

甲良町も加入する彦根愛知犬上広域行政組合が進める新ごみ処理施設整備計画（※参照Ⅱ計画概要）は、大量のごみを前提としており、根本的見直しが迫られます。

プラスチック資源循環促進法が今年4月施行されました。21年6月に成立した当時、小泉前環境大臣は、廃プラ焼却で「熱回収」は「リサイクルじゃない」と指摘し「燃やすよりもちゃんと分別回収をやる方がCO<sub>2</sub>削減効果も三倍あります。まずは燃やさないで本当に最終的に、リデュース、リユース、リサイクルの順番に行った上でなお難しい場合が熱回収なんですと、この順番をしっかりと説明したいと思います。」と、答えています。21年6月3日、参院環境委員会）。以下は「議会と自治体」4月号Ⅱ岩佐恵美さんの論文後半より抜粋して紹介します。

### “焼却炉の縮小”

#### 推奨の一方で…

環境省は、焼却重視からリサイクル優先への方針転換で、自治体が心配していることに関し、今回の法案の措置により、中間処理施設を縮小したり、あるいはその施設も不要にできる場合があるので、設備コスト、立地の制約が緩和され、さまざまな効率化が可能。分別収集によって、焼却廃棄物量が減る。確かに売電収入の減少とすることで収入減にはなりません。一方では、長期的には焼却炉のサイズを抑えることが可能になるので、ごみ処理全体の費用の効率化を図ることに繋がると考える。

#### 【…中略】法案のしくみに合わせて、前向きに分別収集、リサイクルに取り組み自治体をしっかり応援していく「焼却施設数と処理能力がさらに適正かつ合理的な規模となるように、サイズが小さくなっていくように国としても取り組んでいきたい」としています。

そして廃棄物の新設・更新にあたっては、プラごみ製品プラ及び容器包装プラの

は、現時点で新しい事態に対応するために、既に計画を立ててしまっている、思い切ったプラ資源化を前提とした計画に抜本的に見直すべきです。本来なら、国はどのように指導するのが筋です。二階にあげて梯子を外すようなことはやめるべきです。

#### 【…中略】

おわりに…市民と力を合わせてごみ問題解決に力をつくすことこそ

今回のプラスチック資源循環法によって、プラの資源化だけに傾注することは、結局プラスチック容器・製品の大量リサイクルにつながりかねません。プラスチック容器・製品の大量生産、大量流通、大量消費をなくしていくことこそが、ゴミ問題の最大の課題だということを根本に取り組むことが大切です。

ごみ問題への対応は、いついかなる場合でも3Rを基本とすべきです。自治体には、ごみによる環境への負荷と財政的な負担をなくすという立場から、ごみを出す市民と力を合わせて、ごみ問題解決のために力を尽くすことが求められています。ごみ問題は住民と自治体が力を合わせて、快適に住みやすい街をつくっていくために、避けて通れない大切な課題なのです。

分別回収実施を交付金交付の要件にする方向で調整中としています。が、本年4月以降のものが対象で、すでに計画が進められている施設建設は対象としないというものです。しかも一般廃棄物整備のための予算は22年度49.4億円、21年度補正47.6億円、合わせて97.0億円もの多額の国費が、自治体に配られることになっていきます。

#### 自治体に求められる、プラ資源化前提の計画の抜本的見直し

2050年にはCO<sub>2</sub>の排出実質ゼロ、2030年には現在の半分削減しなければならぬというのに、最低でも15年～30年先までごみ焼却施設は稼働することになり、CO<sub>2</sub>削減どころではなくなりま

す。プラ資源循環法が定着するにしたがって、プラごみは減少し、燃やすごみが減ることは必至です。大きな焼却炉を、しかもプラごみ焼却に依存したごみ発電を維持することが困難になることは明らかです。自治体

### 新ごみ処理施設計画概要

- ・建設候補地：西清崎（荒神山東麓）
- ・稼働予定：2029（令和11）年
- ・処理能力：144トン／日
- ・費用：処理施設だけで約200億円。搬入路建設28億円。その他、用地買収、軟弱地盤改良、盛土、杭打ちなどの費用は不明としている。

## 甲良民報

2022年5月1・8日合併 854号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士373（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

### ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123  
©日本共産党の見解を紹介いたします。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】